

長野県総合教育懇談会

新しい学びに向かって

**軽井沢西部小学校
軽井沢風越学園**

令和元年10月30日



本日 お話すること

- 1 軽井沢風越学園について
- 2 軽井沢西部小学校との連携について
- 3 西部小学校の取り組み

軽井沢風越学園について



軽井沢風越学園



中軽井沢駅

軽井沢駅

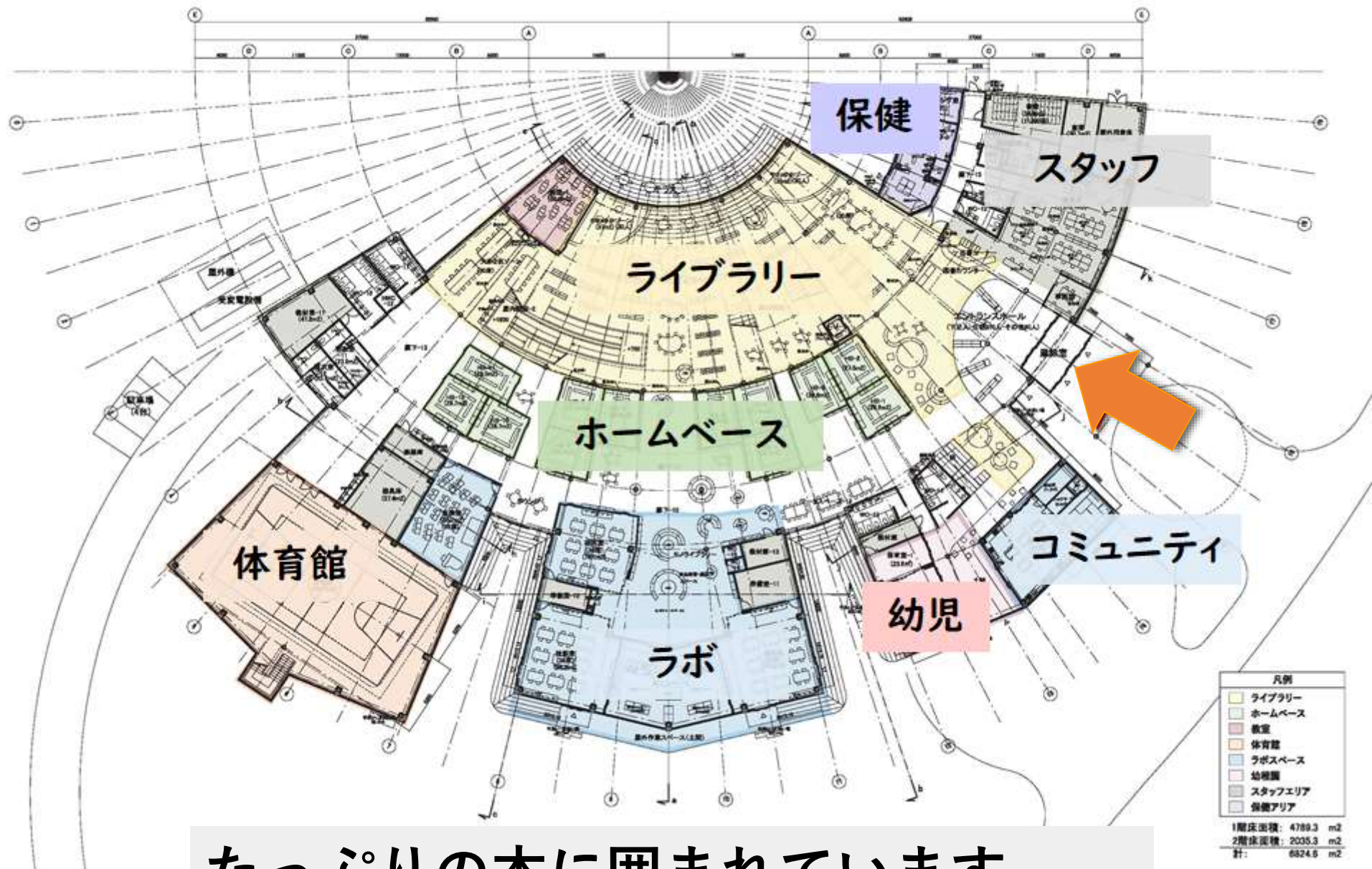
風越公園

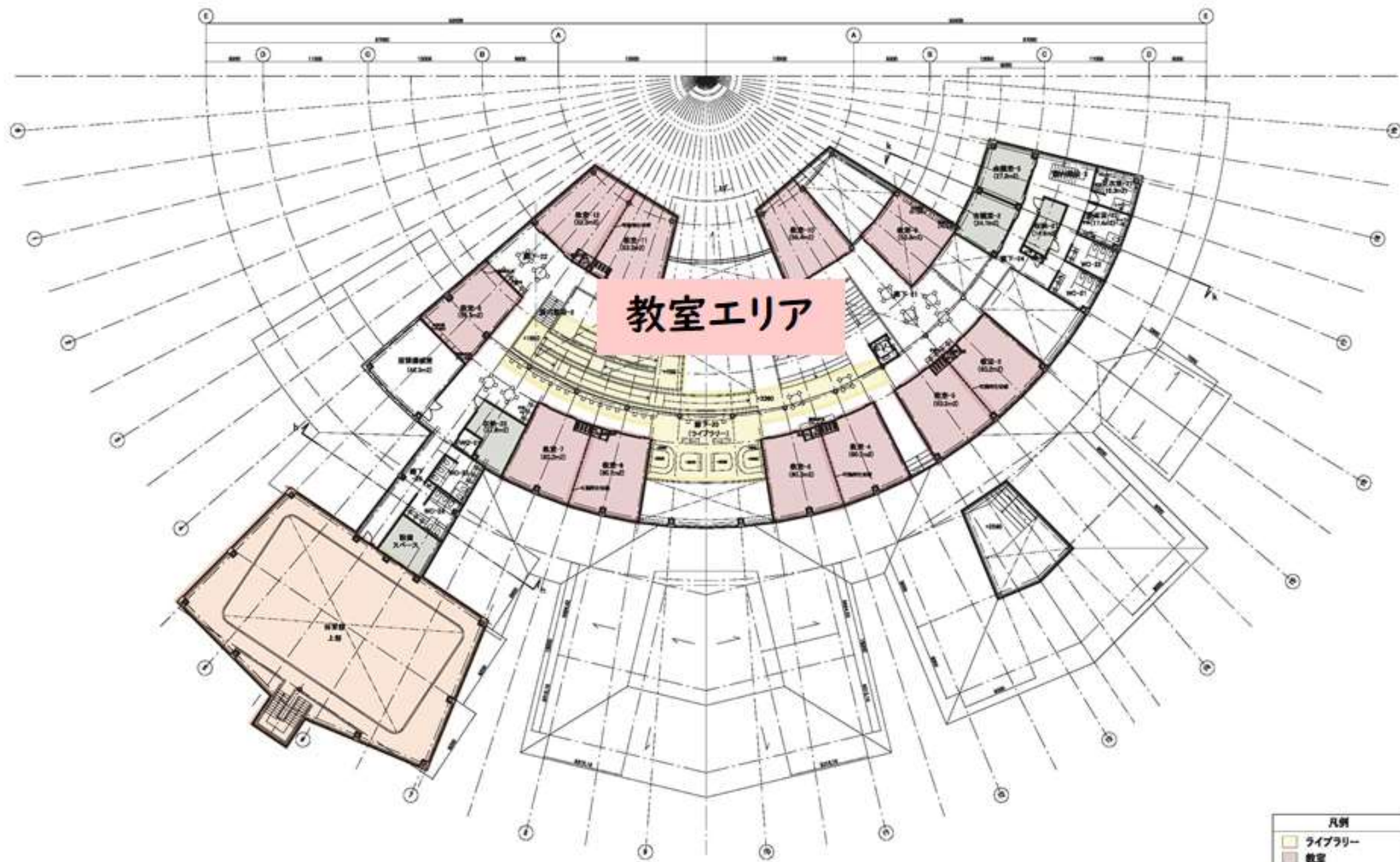
軽井沢風越学園





ゆったりした自然に囲まれています





凡例	
	ライブラリー
	教室
	体育館
	スタッフエリア

幼小中混在のコミュニティスクール

	軽井沢風越幼稚園	軽井沢風越学園	
	幼稚園	義務教育学校 前期課程	義務教育学校 後期課程
定員	3歳児～5歳児 各24名	1～6年生 各35名	7～9年生 各35名

異学年での遊び学び

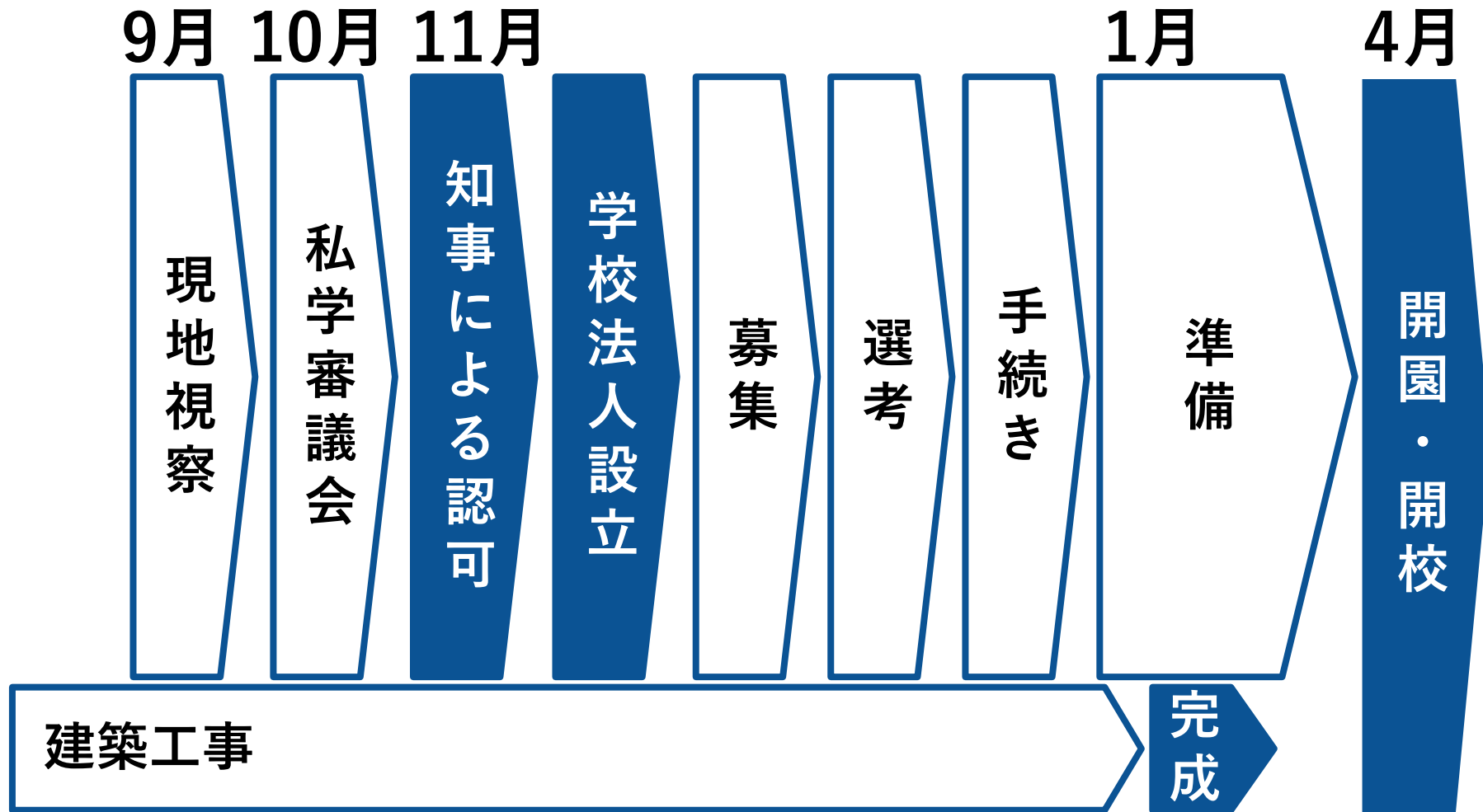
ゆったりとした
自然に囲まれて

たっぷりの本
に囲まれて

3歳から15歳まで、
じっくり、まざって

じっくり ゆったり たっぷり まざって
遊ぶ 学ぶ 「 」になる

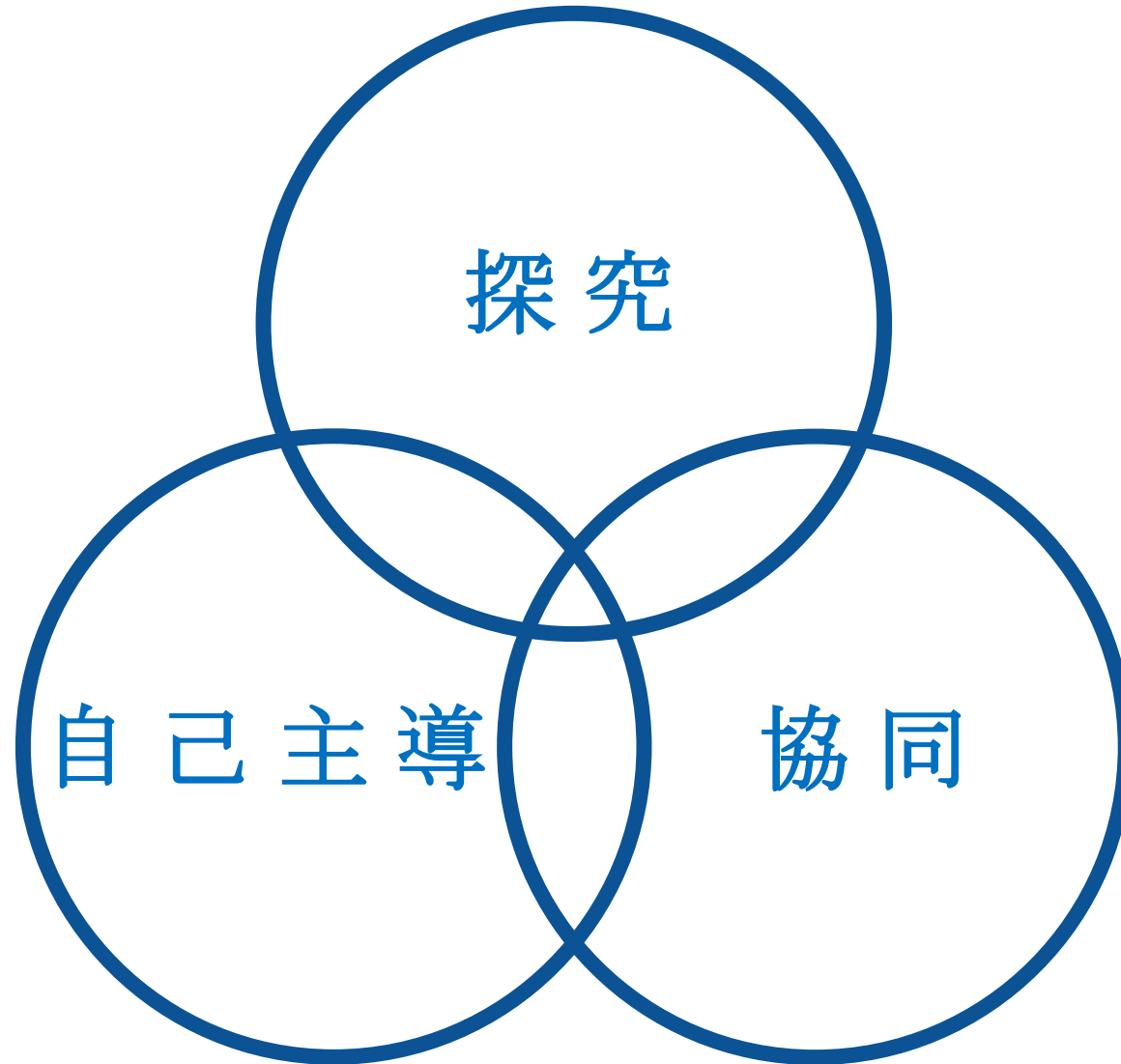
来年4月開校予定





軽井沢風越学園スタッフ

目指す学校像



自己主導 （学びの個別化） （自律的な学び）

「興味・関心」 「学ぶスピード」 「学び方」

それぞれ違う

「やらされる」 勉強

学習意欲を削ぐ

学びのコントローラーを学習者へ
自律的な学び手を育てる

学びたいことを、
自分の学び方で、
自分のペースで
学ぶ

協同化

個別化

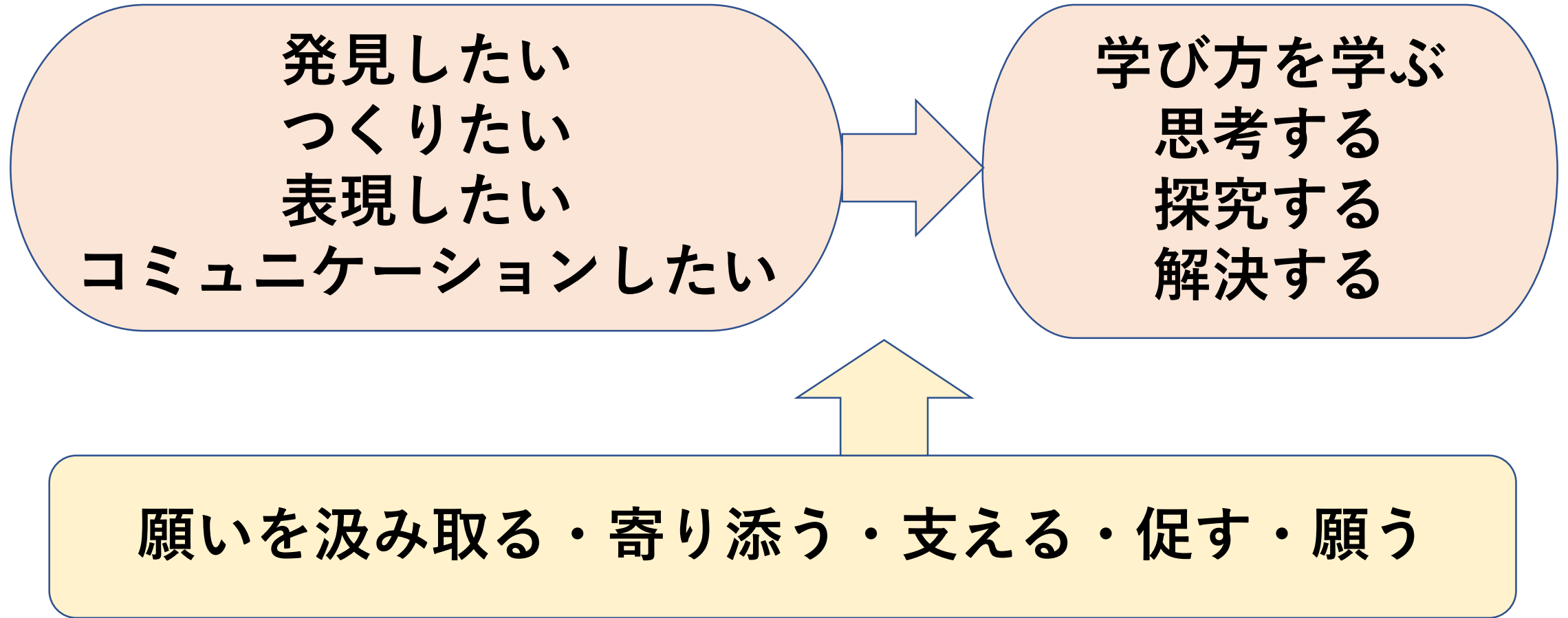
行き詰る・伸び悩む
教師一人では対応できない

一人一人の学びを支え導く
協同的な学びをファシリテート
(促進)

教え合い
学び合い

全員の実りある学びを
達成する

探究の学び



目指す学校像

学びを深め
新たな問いと出会う

探究

＜自由＞に生きるための力と
＜自由の相互承認＞の感度を育む

自己主導

遊びと学びのコントローラーを
子ども自身で持つ

協同

遊びと学びで関係が
広がり、刺激し合い、深まる

カリキュラムの特徴

異年齢

- ・ 3歳から15歳
- ・ 活動に応じた流動的な組み合わせ

探究の芽 土台の芽

- ・ 遊びと学びを分けない
- ・ 遊びから学びへ、学びから遊びへ
- ・ じっくり ゆったり たっぷり まざって

土台の学び

- ・ 読むこと、書くこと、表現すること
- ・ 自由進度の学び

探究の学び

- ・ 深く、広く学ぶ
- ・ 個人、グループ、学校全体
- ・ 保護者、地域、専門家の協力

風越学園と西部小学校の連携

風越と西部の連携（昨年度末）

「長野県のどの学校よりも早く、
新しい教育について学ぶ機会を得ました。」

「学ぶ気持ちを開いて学んでいきましょう！」

連携の橋渡し



西風だより発行
風越部屋・風越掲示板の設置
風越スタッフが自由に出入りできる環境づくり

「大切にしたいこと」の共有

合同研修



一緒に授業づくり



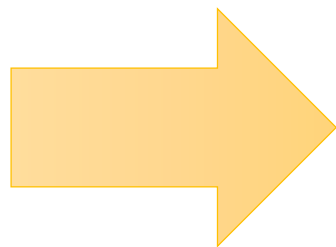
軽井沢西部小学校の取り組み

みんなで
学校をつくろう！

グランドデザインを全職員で考える

西部小めざしたい子どもの姿

自律
共生



- ◇自律的な学び
- ◇異年齢の学び
- ◇探究的な学び

まずは教師が自律的な学びを

職員の声から



職員研修の実施



自律的な学びに向かって

学びのコントローラーを子どもに！

「いつ、どこで、何を、どのように、どんな早さで、誰と」

- 自分の学びたい方法とスピードで学習を進める。
- 自分が集中して学べるところで学ぶ。
- ゆるやかにつながりながら学習を進める。

個の学び

自由進度学習

学びたい場所で学ぶ



自律的な学びに向かって（自由進度）

学習計画表 （単元内）

自分のペースで
進めていく

途中で関所がある

分数的なかけ算・わり算学習計画表

名前: _____

単元の目標：比較図上のかけ算の意味が分かれ、計算することができる。
比較図上のわり算の意味が分かれ、計算することができる。

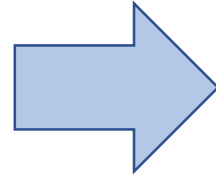
	学習のめやす	やった日	おのり
1	P34～P35 $\frac{2}{3} \times \frac{3}{4}$ の計算のし方をノートにまとめ、友達や先生に説明する。		
メモ			
2	P37 分数×分数の計算のし方をノートにまとめ「確かめよう」を解く。		
メモ			
3	P38 和分の計算と整数が入った計算のし方をノートにまとめ、友達や先生に説明する。		
メモ			
4	P39 単位分数×整数の計算のし方とより小さい分数をかける計算のし方をノートにまとめ、「確かめよう」を解く。		
メモ			
チェックポイント	問題を解き、計算のし方を先生に説明する。	先生のチェック	
5	P40 辺の長さが分数で表されている図形の面積を求める。		
メモ			
6	P41 分数でも計算のまわりが使えるの確かめる。		
メモ			
7	P42 逆数についてノートにまとめ、「確かめよう」を解く。		
メモ			
8	P43～44 練習・力だめしの問題を解く。		
メモ			
9	P45～46 $\frac{2}{3} \div \frac{3}{4}$ の計算のし方をノートにまとめ、友達や先生に説明する。 分数÷分数の計算のし方をノートにまとめる。		
メモ			

自分の理解度に応じて色を選んでシールを貼る

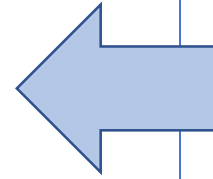


年度当初

友だちの学びに無関心
友だちに過剰に干渉
困っても動けない
先生や特定の友達に依存

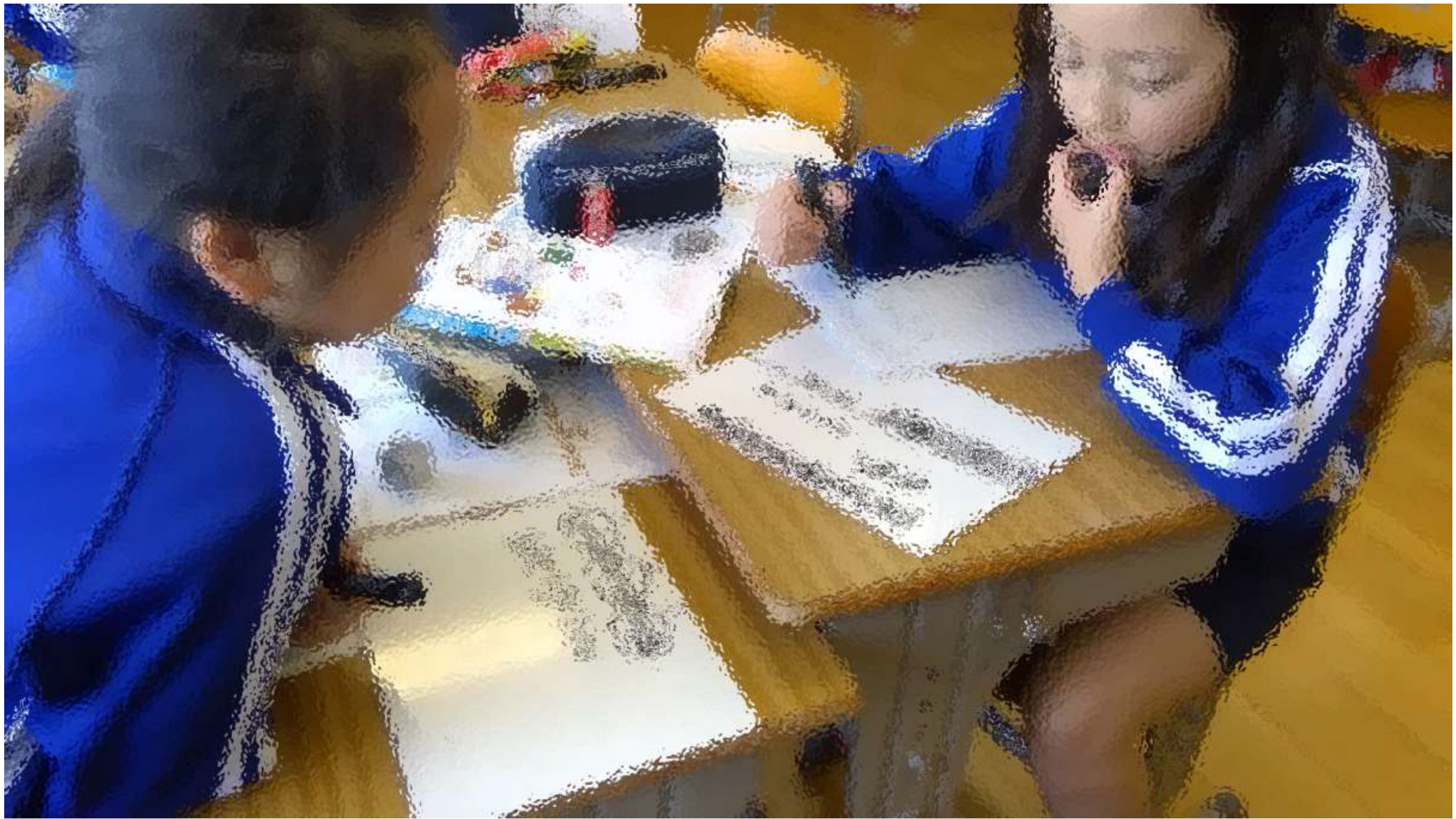


学級通信
ペアトーク
教室リフォーム
朝のサークルタイム
プロジェクトアドベンチャー



関り合いの中で学ぶ
友だちの個の学びを尊重
必要な時に必要なかわりをする
「わからない・教えて」が言える
依存先がたくさんある

学級経営





友だちに教わるSさん

わからないところがわかる

友達にとことん聞く

わからないところにもどって学ぶ



自信をもつSさん



友だちに教えるSさん



友だちができて、
とてもうれしそうな笑顔

自分で学んでみてのSさんの声



この勉強のやり方で、
わからないところをわ
かるようになりました。

自分も進めるし、相
手にも教えられるので
いいと思いました。

4竹の子どもたちの声

思い通りの自分のペースでできてよかった。そのことでちゃんと覚えて満点の自信しかない!! 次の勉強もこのペースでやりたい。

人に教えると、わかってもらおうという気持ちがあるので、わかりやすい考え方を自分で考えて、自分でもよくわかるようになる。

一緒にやるとどんどん先に進んでしまっ、あまりわからない状態で進んでいくけど、自分のペースでできて、今勉強しているところをしっかりと理解してからきちんと進めて、とてもよい勉強だと思いました。

自分のペースですすめるし、わからないときは「わからない」と言って、友達が教えてくれるからいいです。

1㎡をつくろう



1㎡って何人乗れる
んだろう？





1
a
っ
て
広
い
な
あ



レベル 1

① $1\text{ cm} \times 1\text{ cm}$ の正方形は

② 1 cm は _____ 1 cm^2 は _____

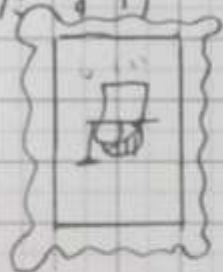
③ 求め方の図を書きましょう。



式

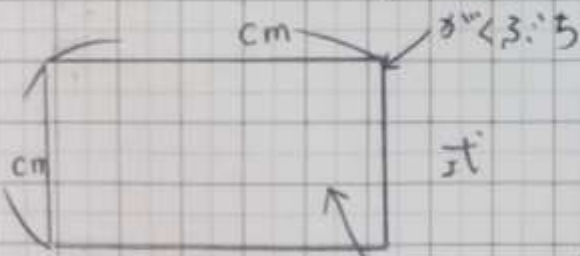
A.

④ おたすけ



この絵では、
がくぶちを計るので
なく、中の絵の広さ
が大事

④



式

A.

レベル 2

⑤ シルバニアの、1かいのゆかのたての長さ 32 cm 。横の長さが 3.8 cm です。ゆかの面積は何 cm^2 ?
式 _____

計算スペース

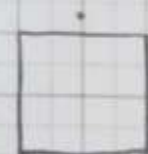
A.

⑥ ふさおしい物を線で結びまう。

4 cm^2 の
正方形

4 cm^2 の
L字形

4 cm^2 の
工形



クラス全員
が理解でき
るように、
問題作りに
取り組む子

自律的な学びを支える教師のスタンス

- 「一人一人の学びを大切にする！」という強い気持ちをもつ。
- 「クラスみんなでかしこくなろう！」という学級文化を子どもと一緒につくる。
- 子どもの声から出発し、学び方を子どもと共に考える。

**方法や正解はなく、
子どもと共につくっていく**



自律的な学びを支える教師のスタンス

- つなぐ**（教師はファシリテーター）
- 認める**（何を認めるか）
- みとる**（確かな教材観）

M先生の声



この学習への手ごたえを感じている。

子どもにも自分のペースがある。
最初わかったのに途中からわからなくなったり、つまずいたところにもどったり、子どもの学びってそういうことの繰り返しなのだと思う。

前提として、教え合える人間関係がないと難しい。わからないと言うことは難しいことだから、言いにくいときには教師がつなげるといい。

共生に向かって（縦割り総合）



虫探し

キックベース



共生に向かって（縦割り道德）

西部小のいいところって？



共生に向かって（異年齢学習）

日常では生まれない関係性

相手を思う気持ち

R君



自分と向き合うS先生

「見栄えが気になったり、しっかり学べているのかが気になったりして、なかなか手放せない。」

「子どもをコントロールしてきたこれまでの自分を変えることはとても難しいこと。」

大切にしたいこと

- 学びのコントローラーを子どもに手渡し、
大人が支えていくこと。
- そのためには、自分自身が一人一人の子ども
を尊重できる大人になること。



軽井沢西部小学校 軽井沢風越学園